



学校だより

11月号



みのたなくん

～豊かで調和のとれた子の育成～

[た]くましく生きる人 [な]かよく生きる人

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

新様式での実施と模索

校長 酒井 浩明

木の葉の色付きに秋の深まりを感じる頃となりました。

10月12日から後期が始まり、学校行事等も、新しい様式での実施が本格的になりました。

そのスタートが、10月2日の5年西湖校外学習です。この活動は、西湖周辺での体験活動と、世界自然遺産の富士山に関する学習を大切にしながら、宿泊を行わずに、バス利用の日帰り行事に変更したものです。

日帰りに加えて、高速道路の事故渋滞もあり帰校時刻が遅れましたが、カヤック体験と風穴見学、樹海の一部をハイキングすることができ、初めての経験に満足して帰ってきたようです。

また、22日に行った4年高尾校外学習も、日帰り行事に変更し、高尾山を登ってきました。上りは、森林の中を歩き、一部にとっても浅い沢を歩く、変化に富んだ1時間50分ほどの琵琶滝コースを歩きました。朝は曇っていましたが、天気にも恵まれ、頂上にたどり着いた子どもたちは、口々に「やっと着いた～」と疲れを口にしながらも、ニコニコと達成感を表現していました。昼食後、子どもたちは、舗装された表参道コースを下りながら「上りのコースのほうがよかったね。」と、言っていたのが印象的でした。

29日には、日光修学旅行の代替として、歴史学習との関連を大切にしながら日帰り行事に変更した班行動を伴う6年鎌倉校外学習が行われました。

10月19日から、トランペット鼓笛隊（中学校の部活動に準ずる課外特設クラブ）の朝練習を再開しました。

コロナ禍の中での再開なので、昨年度2月の募集時の計画と異なり、4年生を除く、5・6年生18人が、当番の保護者の方の協力を得て週2日活動しています。

管楽器の使用する活動なので、感染拡大リスクを現在行われている通常学習にさらに近づけるように、横浜市のガイドラインに加え、次のような対策も行っています。

- 体育館の換気を十分確保するだけでなく、床の汚染防止のために大判のバスタオルを敷き、活動後に床の清掃をしています。
 - 楽器の先に飛散防止の袋状のものを付け、口元に切込みを入れたマスクを着けての演奏をし、終了時に通常のマスクに替え授業に参加しています。
 - アルコール系のウェットティッシュを持参し、演奏中に唾が付いた場合、手指の消毒等を行っています。
 - 体調不良や同居家族に発熱者がある場合、練習の参加を控えるようお願いしています。
- なお、4年生の活動は、5・6年生の活動や新型コロナウイルスの状況等を注視しながら、2月3日以降の再開に向けて検討を進めます。



<東昇降口前の
アメジストセージ>

11月恒例の「田奈のみり」（土曜参観）についても、5年生の子どもたちが餅をついて全校で食べる活動ができませんので、例年、運動会で発表している「体育の表現」を保護者のみにご覧いただく予定です。

そして、5年生が育て収穫したもち米の一部は「5年生の思いが詰まった田奈っ子ライススープ」として、給食を通して全校児童と共有します。また、わら草履づくりの体験も取り組み方を少し変更し継続していく予定です。

今後も、感染対策を踏まえた新様式を模索しながら、学校行事等を計画・実施していきますので、ご協力・ご支援をお願いいたします。